

部内スキルアップ研修報告 「竹細工」

生産技術系
山下 俊一

1. はじめに

竹本来の持ち味を生かした竹細工技術を習得することにより、「ものづくり入門」や「出前授業」での活用と個人としてのスキルアップ、そして竹の持つ魅力とその温もりのある風合いを再認識するとともに、竹から作品になるまでの作業工程をイメージする能力を養う事を目的として今回の研修を企画した。

2. 研修要領

目 的 : 竹の特徴を利用し細部まで精巧に再現した昆虫等の造形技術を習得する
期 日 : 平成 25 年 1 月 28 日 (月)
場 所 : ・始良市蒲生 (展示品の見学) ・始良市平松 (竹木館において実技)
講 師 : 竹木館主宰 川畑兼次氏
対 象 : 出前授業担当者、ものづくり入門担当者及び竹細工に興味のある者
参加数 : 8 名

3. 研修内容

実技指導に先立ち、川畑様の約 10 年にも及ぶ造形活動の集大成と呼ぶべき数々の作品展示会の見学をさせて貰った。昆虫や小動物を主に、竹の持ち味を充分に生かしたその完璧な作品には感嘆の声しかない。

見学後、工房である竹木館に場所を移し、参加者それぞれが実際に竹を削る、割く、曲げる等の基本作業を直接指導して頂きながら「鶴」、「クワガタ」、「バランスとんぼ」等の製作を行った。

4. 研修風景と作品の一部



5. おわりに

竹の持つそれぞれの表情をイメージする作品と照らし合わせ、巧みな手捌きによりまるで生命を吹き込まれたかのような作品が出来上がる。「10 年間、コツコツと続けてきた成果です」「何度も失敗しました」の言葉に改めて日本の「ものづくり」の原点を見たような気がした。これを機会に、素朴ながらも奥の深い竹細工をこれからの若い世代に伝えられるよう努めて行きたいと思う次第である。

ユーモアを交え丁寧な指導をして下さった川畑様、絶妙なタイミングでの解説とマネージャー役として細かく世話をして下さいました奥様、今回の研修を快く引き受けて頂いたそのご好意に心から謝意を表します。